

**熊本県立大学 環境共生学部 環境共生学科 居住環境学専攻
令和7年度(2025年度) 卒業論文・卒業設計発表会 プログラム
日時:令和8年(2026年)2月8日(日)午前8時30分～
会場:大ホール**

▼ 午前の部 8:35～12:01

発表時間:発表 7分, 質疑3分

種別	発表番号	題 目	発表時間
論文	1	放置空き家の抑制を目的とした空き家遠隔管理システムの提案と検証	8 : 35 - 8 : 45
論文	2	空き家流動性向上を目的とした最低限改修の提案と検証 一熊本県宇城市を対象として一	8 : 46 - 8 : 56
論文	3	離島出身者へのアンケート調査を基にした移住施策の評価と分析 一長崎県新上五島町を対象地として一	8 : 57 - 9 : 07
設計	4	ひとときの在り処	9 : 08 - 9 : 18
設計	5	Ant Nest 一多様な芽がのびゆく空間一	9 : 19 - 9 : 29
設計	6	言葉と生きる 一小学校を起点とした学びのまちの形成一	9 : 30 - 9 : 40
設計	7	音を解く 一聴覚の解放から生まれる快い空間一	9 : 41 - 9 : 51
設計	8	揺らぐ価値観を抱き、己の生を紡ぐ 一力強く豊かに在り続けるために一	9 : 52 - 10 : 02
設計	9	あそんで育つ 一子どものための複合施設一	10 : 03 - 10 : 13
休 憩 (10 分)			
論文	10	静定構造力学における自己学習支援に関する研究 一はね出し梁・ゲルバー梁の発展編一	10 : 23 - 10 : 33
論文	11	木・鋼ハイブリッド耐力壁の構造性能に関する解析的研究 一垂壁・腰壁一	10 : 34 - 10 : 44
論文	12	温浴施設を主とした複合施設としての避難所の提案	10 : 45 - 10 : 55
論文	13	伝統木造建築物が有する茅葺屋根の重量評価に関する研究 一文献調査に基づく現状把握と課題抽出一	10 : 56 - 11 : 06
論文	14	2016年熊本地震の悉皆調査における伝統構法木造建物の被害状況の精査 一在来軸組と分類された建物の構法の再判定と被害分析一	11 : 07 - 11 : 17
論文	15	伝統構法木造建物の構法判定方法の課題と改善策に関する研究 一2016年熊本地震の悉皆調査事例を通じて一	11 : 18 - 11 : 28
論文	16	熊本城内の伝統的木造建築物における二重壁の耐震性能評価に関する研究	11 : 29 - 11 : 39
論文	17	壁土の材料圧縮試験方法の確立に関する研究 一研究の方向性の検討と予備試験結果一	11 : 40 - 11 : 50
論文	18	RC造の床・屋根を有する歴史的煉瓦造建築物の地震被害分析 一大正関東地震における旧東京市丸ノ内地区を対象として一	11 : 51 - 12 : 01

▼ 午後の部 13:10～16:36

休 憩 (10 分)	
論文 19 熊本市上乃裏地区における店舗群とまちの特性に関する研究 一インタビュー調査を通して一	
論文 20 上乃裏通りらしい建築的要素の抽出	
論文 21 福岡県筑前町における生活景の抽出、発信及び評価に関する実践的研究	
論文 22 ライフラインチャートを用いた郷土愛の時系列変化と変化要因に関する研究 一熊本県立大学生を対象として一	
論文 23 大学構内における植栽の量と質が学生に与える快適性に関する研究 一熊本県立大学構内を対象に一	
論文 24 制作・展示・交流が共存する空間の提案 一三郎家を対象として一	
論文 25 天草郡芦北町における無人販売所が地域に果たす役割に関する研究	
論文 26 宇土市住吉町の海苔漁師の生業と生活様式の相互関係及びその変容に関する研究	
論文 27 大津町における新旧住民の交流に関する研究	
論文 28 豪雨災害時における商工業者のつながりと共助行動に関する研究	
休 憩 (10 分)	
論文 29 熊本市河内町における蜜柑畑と関連施設および運搬設備の変遷からみた地域特性	
論文 30 QGISを用いた熊本県における茶商店立地の変化と生活圏	
論文 31 崎津集落における空き家活用施設の実態調査に基づく活用指針の検討	
論文 32 気候条件からみた伝統的保存食の地域差に関する研究 一九州地方を対象として一	
論文 33 甘藷貯蔵庫の建築的特徴と室内温熱環境に関する研究 一熊本県大津町を対象として一	
論文 34 大学キャンパスの屋外空間における熱環境と利用実態との関係性に関する研究 一熊本県立大学を事例として一	
論文 35 河川との隣接関係と都市空間構成の違いが夏季の市街地熱環境形成に及ぼす影響	
設計 36 月夜が照らす幽趣佳境墓地	